

## 保健領域部会

### 1 保健領域における研究主題の捉え方

保健領域の特性として、「授業」と「生活」のそれぞれにおける学びが歯車のように密接に関わっていると考え、子供が「自ら学び続ける力」を育む過程を以下の図のように設定した。このサイクルを回し続ける力を「自ら学び続ける力」とした。

学習場面	自分事として考える	保健学習との出会い、自分事として捉える。
授業	課題を設定する、見通しを立てる	自分自身・生活を振り返り、現在の自分を認知する。 自分に合った課題を見だし、見通しを立てる。
授業	解決するための方法を考える (個人→仲間と共に)	個人で解決を考える。 「知りたい」「伝えたい」という気持ちから協働的な学びへ繋げ、仲間と共に考えることで思考を広げ、深める。
授業 生活	実践する、継続する	解決策を試してみる。学んだことを生活の中でもやってみる、続けてみる。
授業 生活	変化を実感する (振り返り)	当初の自分との変化を振り返り、その効果を実感する。 よかったこと、合わなかったことなどの自己調整を行う。
授業 生活	意欲の向上	楽しい・できた・分かった・もっとこうなりたいという気持ちを持ち、新たな課題に向かう姿勢を身に付ける。 認められる体験や達成感により個が充実する。

### 2 部内授業で明らかになったこと（未実施の領域は実証授業で明らかにしたいこと）

#### (1) 子供が「自ら学び続ける力」を身に付けるために設定した場面の有効性

①学習との出会いの工夫    ②意思決定場面の設定    ③自己効力感の向上の工夫

これらの場面を授業に組み込むことで「自ら学び続ける力」を育むことができるのかを明らかにしたい。

### 3 研究主題を実現するための手立ての工夫

#### (1) 「健康とは」とブレインストーミング(①学習との出会いの工夫)

児童にとって健康は大切なこと、健康は病気にならないことが大きくかかわっていることをつかませる。健康であり続けたい、あり続けようという思いや願いを単元を通してもてるようにし、そのために病気の予防法を学ぶことが重要であることへ繋がられるようにする。

#### (2) 問題の提示(①学習との出会いの工夫、②意思決定場面の設定)

問題を解く際に仲間と意見交換したり、情報を共有したりする場面を設定し、互いの考えが深まるようにする。自分の生活に振り返って、自らの課題を見付け、得た知識を使って、課題解決に生かせるようにする。

#### (3) 学習ポートフォリオの活用(③自己効力感の向上の工夫)

感染症の予防、生活習慣病の予防、喫煙・飲酒・薬物乱用の害ごとに区切って、学習ポートフォリオを作る。自分の学習ポートフォリオを振り返ること、友達や保護者、教師からのコメント等で学びの成果を実感できるようにする。また、生活で実践できたこと、その変化を共有し、変化が分かるようにする。

#### (4) 学習サイクルの繰り返し

(1)～(3)のサイクルを繰り返すことで保健領域としての「自ら学び続ける力」を身に付けられる体育学習を作っていく。

#### 4 学習指導案

##### (1) 学習過程

< 第6学年 保健領域 「病気の予防」 > 前半4時間

時	1	2	3 (本時)	4
段階	①学習との出会い		②学習課題を見いだす ③学習課題を解決する ④振り返る	
学習内容・活動	1 「健康とは」についてブレインストーミングを行い、健康の定義について考える。 2 学習内容を確認する。 3 病気の原因について考える。 4 病気の原因について知る。 5 学習内容を振り返り、次時の見通しをもつ。	1 前時の学習内容を振り返る。 2 問題を聞き、本時の学習内容を確認する。 3 感染症の予防法について考える。 4 感染症の予防法について知る。 5 感染症を予防するための自分の課題を見付け、解決方法を考える。 6 学習内容を振り返り、次時の見通しをもつ。	1 前時の学習内容を振り返る。 2 問題を聞き、本時の学習内容を確認する。 3 生活習慣病の予防法について考える。 4 生活習慣病の予防法について知る。 5 生活習慣病を予防するための自分の課題を見付け、解決方法を考える。 6 学習内容を振り返り、次時の見通しをもつ。	1 前時の学習内容を振り返る。 2 問題を聞き、本時の学習内容を確認する。 3 むし歯・歯周病の予防法について考える。 4 むし歯・歯周病の予防法について知る。 5 むし歯・歯周病を予防するための自分の課題を見付け、解決方法を考える。 6 学習内容を振り返る。

##### (2) 本時の学習

###### ① 本時のねらい

- ・生活行動が主な要因となって起こる病気の予防について、理解することができるようにする。
- ・生活行動が主な要因となって起こる病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

###### ② 本時の展開 (3/8)

学習内容・活動	○教師のかかわり◎配慮の必要な子供への支援	□評価 (方法)
1 前時の学習内容を振り返る 2 問題を聞き、本時の学習内容を確認する。	○問題を提示することで「解決したい」という意欲を高められるようにする。	
《問題》みなさんは30年後にタイムスリップしました。ある病院では、血液の流れが悪くなった大人の行列ができています。この事態を防ぐためにどんなことができますか。		
	○第1時の原因に立ち返り、どこに当てはまるか確認する。	
3 生活習慣病の予防法について考える。(グループ⇒全体) ・シートに入力し、ICTを活用して全体共有する。 4 生活習慣病の予防法を知る。	○考えたり調べたりする方法の例を挙げる。(教科書、インターネット等)  ○出てきた意見をもとに養護教諭が知識をおさえる。(起こり方、予防法)	□生活行動が主な要因となって起こる病気の予防について、理解している。(観察、学習カード)
5 生活習慣病を予防するための自分の課題を見付け、解決方法を考える。 ・課題と解決方法を学習ポートフォリオとしてまとめる。 6 学習内容を振り返る。 7 次時の見通しをもつ。	○30年後、問題のような事態にならないため今の自分の生活を振り返るよう言葉がけをする。 ◎3、4の活動で習得した方法を生かして考えることができるよう言葉がけをする。	□生活行動が主な要因となって起こる病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。(観察、学習カード)

#### 5 実証授業について

##### (1) 実施学年、実施単元、実施日、実施学校、授業者等

第6学年 保健領域「病気の予防」 令和6年10月15日(火) 世田谷区立千歳台小学校  
主任養護教諭 村瀬 智美、教諭 後藤 智天

##### (2) 実証授業で明らかにしたいこと

- 学習との出会いの工夫を通して、子供が健康への思いや願いを単元を通してもてるようにし、学ぶことの重要性に繋げることができていたか。
- 意思決定場面の設定により、自分の生活に振り返って、自らの課題を見付け、得た知識を使って、課題解決に生かし、学びを深めていたか。
- 自己効力感の向上の工夫を通して、自分自身の学びの成果を実感したり、生活での実践からその変容に気付くことができたか。